

ひきやま
長浜 曳山まつり
4月9日(土)～17日(日)

今年の出番山と子ども歌舞伎の外題

- | | |
|-----------|-------------|
| 孔雀山(神戸町組) | 梶原平三 荻石切 |
| 翁山(伊部町組) | お園六三郎 浪華の春雨 |
| 萬歳楼(瀬田町組) | 傾城阿波の鳴門 |
| 常磐山(呉服町組) | だんごろ 大師の場 |
| | 妹背山 婦女庭訓 |
| | 三笠山 御殿の場 |



▶ 昨年の曳山まつりから



三番叟は
植田光輝くん
(長浜小5年・八幡東町)

市内の小学3～5年生の男子を対象に募集される三番叟役者。その三番叟役者を決める矢籤の神事が、長浜八幡宮で執り行われました。応募した7人のうち、植田くんが、先端に赤い印のついた当たりくじ(矢)を2年連続で引き当てました。子ども歌舞伎の開演を祝う大役を引き当てた植田くんは、「当たってびっくりした。また今年もがんばりたい」と、意気込みを語ってくれました。

曳山祭の主な行事

9日(土) 線香番 18時頃から 各山組稽古場	9～12日(土～火) 裸参り 20時頃から 山組町内、長浜八幡宮、豊国神社、山組町内	12日(火) 神輿渡御 18時30分から 長浜八幡宮、御旅所	13日(水) 御幣迎え 7時 長浜八幡宮	14日(木) 子ども歌舞伎 18時頃から 各山組町内	15日(金) 夕渡り 19時から 長浜八幡宮、一八屋社
14日(木) 子ども歌舞伎 午前中 各山組町内	16日(土) 観劇会 10時55分から 長浜文化芸術会館	17日(日) 御幣返し 8時 長浜八幡宮	13日(水) 籤取り式 13時 長浜八幡宮	14日(木) 朝渡り 8時頃 各山組町内、長浜八幡宮	15日(金) 太刀渡り・翁招き 9時過ぎ 長浜八幡宮
14日(木) 登り山 昼過ぎから 山組町内、長浜八幡宮	16日(土) 後宴(子ども歌舞伎) 昼夜 各山組町内	17日(日) 御幣返し 8時 長浜八幡宮	13日(水) 子ども歌舞伎 18時頃から 各山組町内	14日(木) 神輿渡御 狂言終了後 御旅所、長浜八幡宮	15日(金) 子ども歌舞伎 9時55分から 長浜八幡宮、御旅所
14日(木) 子ども歌舞伎 午前中 各山組町内	16日(土) 観劇会 10時55分から 長浜文化芸術会館	17日(日) 御幣返し 8時 長浜八幡宮	13日(水) 籤取り式 13時 長浜八幡宮	14日(木) 朝渡り 8時頃 各山組町内、長浜八幡宮	15日(金) 太刀渡り・翁招き 9時過ぎ 長浜八幡宮

■本日(15日)の子ども歌舞伎開演場所

御旅所	黒壁ガラス館	ファイアミュージアム	曳山博物館	八幡宮
1 番山 16:05	丸の辻御旅所	米倉御旅所	一八屋御旅所	1 番山 9:55
2 番山 17:20	丸の辻御旅所	米倉御旅所	一八屋御旅所	2 番山 11:10
3 番山 18:30	丸の辻御旅所	米倉御旅所	一八屋御旅所	3 番山 12:20
4 番山 19:40	丸の辻御旅所	米倉御旅所	一八屋御旅所	4 番山 13:30

子ども歌舞伎観劇会 観覧券発売中

4月16日(土)に長浜文化芸術会館で演じられる子ども歌舞伎を一番山から四番山までつくりと観賞できます。
【料金】2,000円/人

問(公社)長浜観光協会
(☎65-6521)

問 長浜曳山祭フォトコンテスト実行委員会事務局(長浜観光協会内) (☎65-6521)

http://pht.nagahama-hkiyama.or.jp/

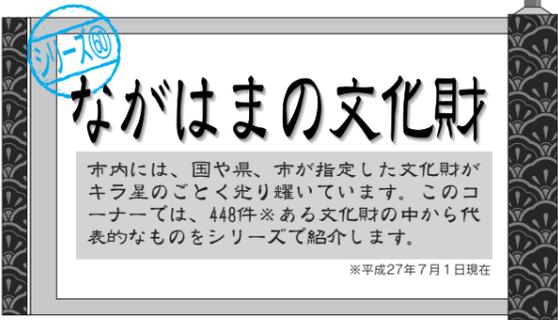
フォトサイト 作品募集
4月2日(土)～17日(日)に撮影された長浜曳山まつりの写真に、それにまつわる思い出やエピソードを添えてご応募ください。
▼対象 なたでも
▼募集期間 4月2日(土)～5月8日(日)
▼金賞 賞金5万円
銀銅賞ほか 地域特産品など
※応募はすべてサイト上からとなります。メールや直接送付などでは受付できませんのでご注意ください。詳しくは、長浜曳山まつりフォトサイトへ。
http://pht.nagahama-hkiyama.or.jp/



▲石田三成像 (長浜市長浜城歴史博物館蔵)

今年のNHK大河ドラマは、真田信繁(幸村)の生涯を描いた「真田丸」です。このドラマに、4月から秀吉の奉行として登場するのが、その側近として有名な石田三成です。石田三成は永禄3年(1560)に坂田郡石田村(現在の長浜市石田町)に生まれました。彼は石田家の次男であったので、幼少期に近くの寺に修行に出されたと言われます。その寺は、伊香郡古橋村(現在の木之本町古橋)の己高山法華寺三珠院とも、坂田郡大原庄の観音寺(米原市朝日所在)ともされ、「三献の茶」の舞台としても有名です。さらに、慶長5年(1600)の関ヶ原の敗戦後に、三成が逃亡した先も、法華寺があった古橋村と言われています。この古橋村周辺は、三成の母の出身地と伝えられています。三成は、秀吉の全国政権の奉行として多忙を極めました。天正19年(1591)から関ヶ原合戦で敗死するまで約10年間、佐和山城(彦根市)の城主を務めました。そして、

伊香・浅井・坂田・犬上の4郡(長浜市・米原市の全域と彦根市北部)を治めています。その三成が、領内へ文禄5年(1596)に出した文書が、今回ご紹介する村掟です。九か条と十三か条ものがあり、本書は前者で坂田郡八条村(現在の八条町)に与えています。九か条は三成家臣の領地に出したものです。十三か条は三成の直轄領へ出したものです。長浜市内を中心に、九か条が10通、十三か条が13通、近代まで残っていました。内容は年貢の収納方法について詳細に述べており、農村から町への人口流出を禁じ、農民の確保もうたつ



ながはまの文化財
長浜市指定文化財 有形文化財(書跡) 1巻
石田三成八条村村掟

答申日 昭和39年12月25日
所有者 個人蔵

市内には、国や県、市が指定した文化財がキラ星のごとく光り輝いています。このコーナーでは、448件※ある文化財の中から代表的なものをシリーズで紹介しています。
※平成27年7月1日現在



▲石田三成八条村村掟(巻初)

ています。さらに、代官の非法も訴え出るように述べています。全体に農村において、安定的な農業が行なわれるよう配慮した施策が打ち出されています。本書の長さは2mを超えるもので、このような長文の村掟を書けたこと自体、三成が如何に農村の実情を知っていたかが分かります。この知識を、戦国に代わる新たな社会・経済システムの構築に反映して行きました。長浜ゆかりの石田三成の生涯を、大河ドラマ「真田丸」でも確認してみたいかがでしょうか。



▲石田三成八条村村掟(巻末)

問 長浜城歴史博物館 (☎63-4611)